

「春よこい」

五年 黒島小学校 宮澤 勇氣

雪がとけたら春になる。とは聞いた事があるけれど、ここ黒島は、冬は寒さというよりはげしい風が吹き、突然夏になるという感じ。だからぼくには、サクラが咲くと春が来るとか、雪の下から、黄緑の新芽がでてくるとかは、想像ができません。

長野の人に、聞きたいことは、いっぱいあります。たとえば、雪だるまは、ほんとうに転がして作るの？犬は雪がふると喜んで走り回るとか、いかい？はいあります。

また、冬になると、子供達はそり遊びや、スキー、スノーボードで遊ぶんですか？ぼくの住む所は、さか道もなく、山もなく、おかもありません。高い所からすべりおりの遊びなんて、まったくやっただけです。だからぼくは、季節の変わり目を遊びで感じることができ、るくらいしかうらやましいです。でも、雪を知っている友達に、雪はつらい

よとか、道路はあぶないよ。とか言いませう。
それを聞いたら、ぼくが思っていたように、
子供達が楽しく遊ぶ一方、雪はつらい一面
もあるんだなと思いました。

「雪がとけたら春になる」と言う事は、た
んに季節が変わることじゃないと気づきまし
た。春かるとは、つらい冬をのりこえ、何
か新しいことが始まる意味かなと思いました。
もしも、ぼくがもしこの経験をひきたら、
さらに、雪の楽しさや、ひきたら、と

知って、春を待つきもちが、も、と育つと思
います。

ぼくは今、「雪がとけたら春になる」という
自然を、この目に焼きつけたいのです。そし
てこの体験を島の人々に伝えたいのです。

日本、沖縄の四季

六年 糸数 真緒

私は、南城市にある久高島に住んでいます。人口200人も満たないこの小さな島に、学校は私達が通う久高小中学校一つしかなく、小学生15名、中学生25名しかいません。しかし、少ない人数だからこそ、みんな下いろんな行事を協力して創りあげたり、小さい子とたくさん交流したりする事で、相手の事を思いやる優しい子供達が多いです。

また久高島は、おじい、おばあがたくさん住んでいて、海に囲まれる自然豊かな島で、夏になると、毎日のように海で泳ぎます。学校行事や島行事も多く、特に追い込み漁や旧正月など、昔から伝わる伝統的な行事を大切にしています。

でも、私は久高島に住んでいて、県外に一度も行った事がなく、春、夏、秋、冬の季節の移り変わりをあまり感じた事がありません。沖縄は、一年中温かく、冬になるとテレビで

県外で降っている雪を見ると、
「雪って、どんな感じなのかな。沖繩も降ら
ないかな。」
と思う事もあります。

また、国語の季節を表す言葉を使う俳句の
授業で、筆者の気持ちがあんなか想像できな
かったり、自分で俳句を作る時、冬の季節を
表現する事が、うまくできませんでした。こ
のことから、季節の切り変わりが体験でき
るといいなあと思いました。

今回、「雪がとけたら春になる203年信州、
雪解け体験ツアー」の話や、先生から聞いて、
沖繩では体験できない四季の切り変わりをせ
ひ、感じ、体験したいと思いました。また、
沖繩と違う文化、歴史、気候にふれる事で、
私達の住む久高島の良さを発見できたらいい
なあと思います。そして、日本の四季の切り
変わりのすばらしさを感じてみたいです。

「雪の魔法」

知花 飛羽

「雪がとけたら……」

私がこの言葉から思い浮かべる物は、「笑顔」です。なぜなら、春が来る。動物が目覚める。花が咲き誇る。その全ての事に共通すると思う物か「笑顔」だからです。

でも、沖縄では雪が積もる事は無く、とけた後に春が来る事は当然のようありません。私はニューヨークで「雪が降った」「雪

が積もった」等と聞くと必ず「一度でいいから雪を見てみたい」と思います。雪かきが大変でも寒さが厳しいとしても「雪が降る所へ行きたい！」と思うくらいです。

私が雪が降る所へ行って見たい物は雪たけではありません。もうひとつの見てみたい物は「見ている人の笑顔」です。雪が降っている時、積もっている時、とけて春になったら、人々はどんな気持ちでいるのか、また自分はどう思うのかを知りたいです。

降る、積もる、とけるの3つの姿に変身し、
見る人を笑顔にし、変身が終わると春を呼ぶ。
そんな雪を、とけて春になる時を、見こいる
人たちの笑顔を、私は体験したり、見たりし
たいです。